

3月12日(水)～18日(火)の1週間に渡り、地方の学生を対象に「国会議員事務所(秘書)春季インターンシップ」を開催しました。今回は春季特別号としてその全容をお伝えします。

3月12日(水) 開講式・講座Ⅰ・歓迎懇親会

北海道から沖縄まで、全国より19名の学生が参加しました。開講式の司会は越智隆雄副学院長。石破茂幹事長、松本洋平青年局長、小泉進次郎復興大臣政務官が開講の挨拶に駆けつけ、河野太郎学院長が講座を行いました。

実習初日ということもあり、最初はこちらにも緊張が伝わってきましたが、すぐに他の学生と打ち解け、夜の歓迎懇親会では河野太郎学院長を囲み賑やかに懇談していました。



3月14日(金) 講座Ⅱ

日中は議員事務所で実習し、夕方から講座Ⅱを行いました。谷垣禎一法務大臣を講師に、「未来を担う若者たちへのメッセージ」というテーマで、学生に日本人としての誇り・物事の見方・向合い方などを伝えました。講演後の質疑では約半数の学生から質問が寄せられ、とても内容の濃い講座となりました。



3月15日(土) 講座Ⅲ・講座Ⅳ・講座Ⅴ・党本部見学

今回は土曜日を一日研修とし、3つの講座と党本部見学を行いました。

まず講座Ⅲとして、前年度のインターンシップ参加生2人にこのインターンシップに参加して感じたこと・得たこと・注意したことなどを同じ学生の目線で発表してもらい、その後2グループに分けて座談会形式で交流する時間を設けました。

次に若手官僚の方々をお招きし、こちらも2グループにわけて自由闊達に意見交換をしました。年齢が比較的近く、官僚志望の学生も多くいることから会場は盛り上がり、終了後も質問に並ぶ学生が多数いました。

この日最後の講座は、前インターンシップでも特に反響が大きかったケアプロ株式会社・川添高志代表取締役社長にお越しいただきました。自身の経験をもとに起業家としての政治と社会問題との関わり方を伝えました。

全講座終了後、党本部見学をして解散しました。どの講座もすぐに実践できるアドバイスが多く、講座終了後から実践している学生もいました。



3月17日（月）講座Ⅵ

実習終盤となったこの日「学生へのメッセージ」として講師に穴見陽一衆議院議員を迎え、独自の問題への向き合い方や対処の仕方を学びました。質疑では、経営者という視線からみた魅力的な学生についてなどの質問があり幅広い内容の講演となりました。



3月18日（火）感想発表会・閉講

午前中に最後の実習を終え、感想発表会を行いました。中身の濃い1週間を過ごし、振り返る中で、感極まり涙を流す学生もいました。発表会后、関芳弘副学院長が締め括りの言葉を贈り、春季インターンシップは幕を閉じました。



参加学生から届いた感想

テレビで見たことのある議員さんから貴重なお話を聞かせていただいたり、普段関わることのない事務所で秘書の人と共に仕事をさせていただいたり、何か一つ印象に残ったものを選ぶのが難しいくらい**濃い出来事**ばかりでした

今回のインターンでは**日本政治の中核**を見ることができました。日常では知ることのできないことをいろいろ体験できたことはよい経験になりました。近年、問題となっている若者の政治離れも、実際の現場を見ることで徐々に変わっていくのではと思いました。なので、私もインターンを周りに広めていきたいです。

私が最も印象に残ったことは、政治家の方が日本について自分の想像以上に大変熱心に考えてくださっているということを知れたことです。政治家の方のご講演を聞かせて頂き**日本に対する強いお気持ち**が伝わってきました。また、受け入れて頂いた先生は我々学生に対し大変熱心に向き合ってください、貴重なお話も沢山聞かせて頂きました。他のインターン生との出会いは、私にとって宝物です。

イメージと異なり、先生方が思ったより**良い意味で普通**の方で驚きました。自分自身の目で見るだけで、参加して良かったと思います。

など



以上、大変充実した1週間でした。この実習で得たものを大切にしてほしいと思います。（事務局）